

報告 県道四車線化についての「12の提言」を県知事に提出しました

ましきラボは、県道四車線化計画について、モデルを利用した住民の皆さんとの意見交換会を2月と5月に実施し、その他、毎週のオープンラボなどで住民の皆さんから意見をいただけてきました。それらの議論や意見をまとめ、ましきラボとして検討を重ねた結果を「12の提言」として、8月15日に蒲島熊本県知事に提出しました。

提言書の本文はましきラボのWebで公開しています。また、毎週土曜日のオープンラボでも配布・説明いたしますので、さらにご意見をいただけると幸いです。なお、意見交換会等でいただいた全意見は、四車線化への懸念等も含めて、参考資料として提言書に添付して提出しています。

道路整備は、あくまでもまちづくりの手段の一つに過ぎません。この道のまわりで、どのような暮らしを花開かせるのか。住民が主体となって、「住み続けたいまち、次世代に継承したいまち」をいかに実現していくのか。それらのビジョンやプロセスが、今後、常に問われていくと思います。熊本県、益城町のサポートのもと、住民が主体となった復興が実現されていくことを強く希望するとともに、ましきラボとして、これからも様々な形で協力していきたいと考えています。



提言書を手にする蒲島知事とましきラボメンバー

県道熊本高森線に対する12の提言 (目次)

- I. 益城の顔づくり
 - 提言1. 「益城らしさ」を活かす・つくる
 - 提言2. 住民の希望を反映しやすい柔軟なデザイン
 - 提言3. 沿道と一体的な空間づくり
- II. 歩行者を中心としたみちづくり
 - 提言4. 歩行者も自転車も快適な道
 - 提言5. 安全な横断への工夫
 - 提言6. 公共交通の利便性の向上
- III. 周辺へ波及するまちづくり
 - 提言7. 沿道施設へのアクセス性の確保
 - 提言8. 沿道環境への配慮
 - 提言9. 防災・減災の町の実現
- IV. 住民と協働する仕組みづくり
 - 提言10. わかりやすい情報公開
 - 提言11. 住民とのプロセスの共有
 - 提言12. 住民との協働に基づくルールづくり

参考資料

イベント紹介

『みんなでツナグ 益城の記憶』

益城町「平成28年熊本地震 記憶の継承」検討・推進委員会専門部会報告会

日時：9月22日(土) 10時-12時 会場：益城町交流情報センター(ミナテラス)視聴覚室

益城町が実施している「記憶の継承」事業は、熊本地震から私たちが学んだ教訓を未災地や未来世代にツナグ「終わりのない」事業です。ましきラボの教員は、この活動にも協力していますが、今回、平成29年度の事業報告を行い、既に町内で「記憶の継承」につながる活動をされている様々な方々からご紹介して頂き、みんなで話し合う時間を持ちたいと思います。ご参加をお待ちしております。

今後のオープンラボ滞在予定教員等

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 9/01 星野(景観デザイン) | 9/29 田中尚 (歴史・風景・まちづくり) |
| 9/08 田中智 (建築計画・建築設計) | 10/06 星野(景観デザイン) |
| 9/15 柿本 (都市計画, 防災・減災) | 10/20 田中智 (建築計画・建築設計) |
| 9/22 記憶の継承報告会のため休館 | 10/27 竹内(地域防災, 防災教育) |

毎週土曜日14時~17時にましきラボで皆様をおまちしております！

